



遠藤雅士
(今在家)

大山町米工会

大山町米工会は大山町内に在住する米子工業高校を卒業した皆さんが集う同窓会組織です。三町合併を機にOB諸氏のご尽力で「貢献・存在・研修・交流・親睦」をスローガンに平成18年に設立され、創立10周年の昨年には記念誌の発行を行いました。会員は40代から80代の幅広い年齢層の85名です。その中で4名が町議会議員として活躍中です。活動は、3月の

総会、6月の会報発行、会員研修、今年はJR後藤総合車両所の見学を予定しています。秋の大山一斉清掃への参加、大山町総合文化祭では会員が育てた農産物を出店し毎年好評です。黄色のジャケットが目印です。締め括りは忘年会です。私も退職後入会させて頂き、経験豊富な皆さんと共に明るく元気に活動を楽しんでいます。



貝本朱恵
(新坪田)

大山町に移り住んで

私たちが家族が東京からここ大山町に移住して3年になります。5人の子供たちは、自然豊かで人は穏やか、食べ物も美味しいこの町がすぐ大好きになりました。田舎と都会の一番大きな違いは「選択肢の量」だと思います。店、仕事、交通手段、どれもとても少ないです。その少ない選択肢のなかから選ばなければならぬことが、私には少々窮屈に感じます。

子供たちの未来を考える時、選択肢の多さは子供の歩く未来の道を広げられると思います。大山町でしか、大山町だからこそ出来る体験や経験を子供たちにもっとさせてあげたいです。この町の強みは人と人とのつながりです。人のつながりを生かし、地域の方と一緒に子育てが出来たら、こんなにうれしいことはないです。



向陽寛孝
(下甲)

わが故郷

私はもうすぐ還暦を迎えますが、大学在学中を除いて、わが故郷である大山町に50年以上暮らしています。毎朝、庫裏の窓から眺めることのできる霊峰大山は、幼いころから慣れ親しんだ風景であり、とても好きです。また、「大山さん」のお陰で、水不足になったこともなく、多くの恵みを頂いております。学生時代、東京での便利な生活に

魅力を感じた時期もありましたが、温かい人間関係に支えられたこの故郷が、私にとって何よりもかけがえのない地域です。大山町のみならず、鳥取県全体で少子高齢化・過疎化が進んでいます。町行政も喫緊の課題として取り組んでおられますが、町民も積極的に様々な意見を出し合い、多くの若者が、この大山町を愛し定住化してくれることを願っています。

あとがき

4月に議員と町長の改選が行われた。3人の新人議員が加入し、議会もまた新しい風が吹くことが期待される。竹口新町長とともに、間近に迫った大山開山1300年事業に力を合わせていきたい。

また、地方創生事業にも更なる進展をめぐさねばならない。

町民と議会、町執行部との連携強化のため、本誌もスタッフ一同、変わらぬ努力を続けていきたい。

(大原)

- 【発行責任者】 議長 杉谷 洋一
 【広報常任委員会】
 委員長 大原 広巳
 副委員長 森本 貴之
 委員 野口 俊明
 委員 吉原美智恵
 委員 近藤 大介
 委員 米本 隆記
 委員 門脇 輝明
 委員 杉谷 洋一

発行/大山町議会 編集/広報常任委員会
〒689-3211 鳥取県西伯郡大山町御米屋328
☎ 0859-54-5213 ☎ 0859-54-5214

議会だよりのご感想をお寄せください!